

2019 年 12 月期第 2 四半期通期決算説明会

主な質疑応答の要約

2019 年 8 月 9 日に開催しました 2019 年 12 月期第 2 四半期決算説明会における主な質疑応答の要約を掲載します。

業績及び見通しについて

【Q1】

全社の営業利益率が下がっていますが、いつ反転する想定か教えてください。

【A1】

CookpadTV 社と海外で採用を積極的に行っていることが要因でコストが増加しています。特に海外は、ユーザーに対して価値のあるサービスを作ることを優先した開発に注力しているため、コストが先行する状況は当面続く見通しです。

【Q2】

海外事業に関して、現時点で広告収入があるか教えてください。

【A2】

海外では現時点では広告を販売していません。基本的には日本と同様に会員事業でマネタイズすることを前提としており、つまりサービスを受けているユーザーに対して課金するビジネスモデルを優先的に考えています。現在は課金を始める前の段階で、まずはサービスの付加価値を上げ、使ってもらえるユーザーを増やすことに注力しています。

【Q3】

海外事業について、今後広告を出す予定があるか教えてください。

【A3】

現時点で広告は予定しておらず、付加価値の高いサービスを提供し、その価値を認めていただける方から課金をさせていただきたいと考えています。

【Q4】

海外事業に関して、ユーザー課金を開始するにあたり、そのタイミングはどのように判断するのか？

【A4】

具体的なタイミングは現時点でお伝えできません。あまりサービスに価値を感じてもらえない状態で課金を始めても、すぐ使われなくなってしまうため、まずは使われるサービスを目指し、改善を続けている状況です。

【Q5】

海外事業に関して、増加している人員の雇用形態を教えてください。

【A5】

雇用形態は様々です。グローバルのチームは開発が行われている UK のブリストルを中心に形成されていますが、子会社のない国でコミュニティ活動をする場合には、社員という形態を取りづらいため、業務委託のような形で雇用をしています。

【Q6】

海外事業に関わる人員のコストについて教えてください。

【A6】

海外人員のコストの個別開示はおこなっていませんが、人件費と業務委託費に含まれています。主なコストはエンジニア・デザイナー・プロダクトマネージャーといったプロダクト開発人材の人件費が占めています。

【Q7】

海外事業に関して、展開するサービスの各国、各言語の対応はすべて UK で行われているのでしょうか。どのように対応されているのか教えてください。

【A7】

基本的には UK で行っています。弊社のサービスは現地のユーザーが現地の言語でレシピを作成する仕組みになっているため、翻訳が必要なのはメニュー画面等に限定されています。ただし、地域特有のイベントなどは、各地域のコミュニティマネージャーや子会社のリーダーが実施しています。

【Q8】

海外事業に関して、有料サービス開始を判断するにあたって、どのような指標を参考にしているか教えてください。

【A8】

大きくは2つの指標があります。月間利用者数、およびレシピ数です。クックパッドのサービスをどれだけの人が積極的に利用しているのか？サービスとして盛り上がっているのか？が重要な指標と言えます。現状ではスマートフォンウェブからのアクセスが多い国も多くサーチエンジンの検索アルゴリズムの変更によって利用者数に影響が大きく出るエリアも多いため、開示しています月間利用者数の増減について良し悪しをお伝えすることは難しい状況です。レシピ数の増加については、サービスを利用している結果のため、これが伸びていることは、海外が成長していることのシグナルになると考えています。